

柔道の投げ技における頭部打撲に関する実態調査

背景・目的

<背景>

学校管理下における柔道競技において死亡・重傷事故(頭部損傷が大半を占める)が発生

事故発生要因の解明が重要

死亡事故データのみでは、データ数が少なく、事故要因の解明が困難

➡ 柔道の投げ技における頭部打撲に関する実態調査を実施

<目的>

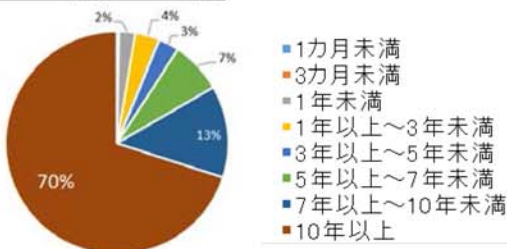
アンケート調査の実施・分析を行うことで、柔道の投げ技における頭部打撲の発生状況解明に取り組む

柔道の投げ技における頭部打撲の実態調査

<方法>

◆ 対象

- 全国の大学生・社会人
- 総計:337名(男性:317名, 女性:20名)
- 年齢:20.8歳±3.0歳
- 段位:2.19段±1.22段



柔道歴

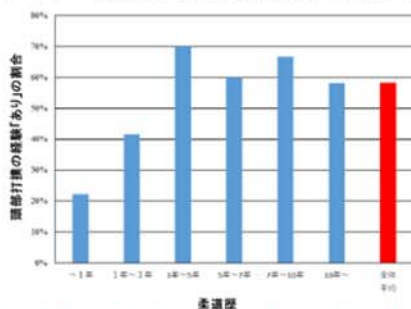
➡ 熟練者(高段位, 長い競技歴)が多いデータ

◆ 調査方法

- 電子機器媒体(PC, スマートフォンなど)を利用したwebアンケートフォームでの回答
- 頭部打撲の経験の有無, 状況(練習中or試合中, 練習内容, 技, 投げられた相手の体格など), 打撲の程度, 打撲発生後の休養期間などの項目を調査

<調査結果>

- 柔道をしていて頭部を打撲したことはありますか?



➡ 柔道経験者の半数以上が頭部打撲の経験有

- 一番最近発生した頭部打撲はどのような状況で発生しましたか?



➡ 頭部打撲の発生は乱取り練習が大半を占める
投げ込み練習での発生はほとんどない

- 一番最近発生した頭部打撲はどのような投げ技で発生しましたか?



➡ 頭部打撲の発生は大外刈りで多い
(死亡・重傷事故データと一致※)

※柔道の安全指導～事故をこうして防ごう～, pp.12-13, 全日本柔道連盟

<まとめ・今後の展望>

- 柔道の投げ技において頭部打撲が多く発生
- 頭部打撲の発生は大外刈りで多く、この傾向は死亡・重傷事故データと一致
- ➡ 頭部打撲データを分析することで、柔道の投げ技における死亡・重傷事故の発生要因の解明に繋がる
- 今後は、これまでに取得したデータの詳細分析および対象者を拡大(人数, 特性)した調査の実施